

平成 29 年 3 月 9 日

越谷保育専門学校  
校長 山崎英美夫

平成 28 年度学校関係者評価報告書の公表について

学校関係者評価委員会による本校の「平成 28 年度学校関係者評価報告書」を公表します。

平成 29 年 3 月 9 日

越谷保育専門学校  
校長 山崎芙美夫 様

越谷保育専門学校  
学校関係者評価委員会  
委員長 山田 陽子

## 平成 28 年度第 2 回学校関係者評価委員会報告

平成 28 年度第 2 回学校関係者評価委員会において実施した「平成 28 年度学校関係者評価(中間評価)」の評価結果について、下記のとおり報告します。

### 記

#### 1 学校関係者評価委員会委員名簿

委員長：山田陽子委員

池田 祥子	社会福祉法人杉の子保育会理事
石田 高幸	学校法人石田学園理事長 社会福祉法人わせだ会わせだっこ中央保育園長
植竹 清文	学校法人植竹学園 認定こども園わかばの森園長
鶴見 秀海	埼玉県立越谷東高等学校長
岡 美那子	社会福祉法人 まあれ愛恵会 さいたまたいよう保育園長
中島新太郎	元 埼玉県吉川市立北谷小学校長、元吉川中央公民館長
山田 陽子	十文字学園女子大学人間生活学部幼児教育学科教授

(五十音順)

#### 2 学校側事務局

山崎芙美夫	学校法人ワタナベ学園理事長兼越谷保育専門学校長
美入 昌男	越谷保育専門学校副校長
会田 秀樹	同 学科長
須賀 成則	同 事務長
東海林 孝	同 教務部学科主任
渋谷るり子	同 教務部学科主任
菊地 秀典	同 事務長代理

3 委員会開催状況

日時：平成28年11月21日（月） 午前9時30分～10時45分

会場：越谷保育専門学校 201 教室

参加委員：委員 5名（欠席：石田委員）、学校側事務局 7名

4 委員会次第

開会

1 校長挨拶

2 議長選出

3 報告事項

（1）第1回委員会報告と情報公開について

4 協議事項

（1）第1回委員会報告に示された意見・課題への取組・改善策

（2）ア 平成28年度重点目標と取組

イ 生徒募集関係

ウ 退学者数と休学者数

エ 求人状況及び就職内定者の状況

5 その他・事務報告

（1）議事録及び第2回学校関係者評価委員会報告書の作成と公表

（2）第2回委員会で示された意見・課題への取組・改善策の取扱い

閉会

5 委員会議事要録

別紙のとおり

別紙

平成 28 年度越谷保育専門学校 第 2 回学校関係者評価議事要録

平成 28 年 11 月 21 日

開会

1 校長挨拶

2 議長選出

山田陽子委員

3 報告事項

(1) 第 1 回委員会報告と情報公開について

4 協議事項

(1) 第 1 回委員会報告に示された意見・課題への取組・改善策

基準 1 「教育理念・目的・育成人物像」について

(委員) それぞれの学生が得意な分野を持った幼児教育者になれるようにというのは新たな視点なのかなと思ったのですが。

(学校) 幼稚園や保育園との懇談会にてどのような求人票が良いのかと意見を求められ、「こんな先生を募集している」とはっきり募集している人物像を出すのはいかがでしょうかと話しました。学生が求人票を見て「これって私だ」と思えば求人票の活用はうまくいき募集に繋がっていくと思うからです。そのような経過から得意な分野をもつということを入れさせていただきました。

(委員) 先日学生発表のオペレッタを拝見させていただきました。観客の前に出る大変さ、キャストとのやり取り等経て舞台上に立っていることは評価できる。学生を採用する立場としてこのような先生を採用したいと前回発言させていただき 1-1-3【理念等の達成に向け特色ある教育活動に取り組んでいるか】に関しては評定 4 に近い 3 が妥当であると思います。

1-1-4【社会のニーズ等を踏まえた将来構想を抱いているか】について、社会のニーズに沿って改善しているのか疑問に思う。小規模保育園の B 型には保育資格取得にチャレンジしている方がいるが、そのような人は通信で勉強している。専門学校の一つの使命として大学生や社会人のダブルスクールになるようなカリキュラム等を組まないといけないのではないかなと思う。大学生等が将来仕事に就くときに対象になるように変えていくのが社会のニーズではないか。

(委員) スポーツやダンスが得意、虫やザリガニが扱える先生が欲しい。そういった豊かな人間性を持った学生、先生をどのように育てていくか？豊かな心を育てるやり方はあるのでしょうか？

(学校) 幼稚園教育要領に豊かな人間性ということがしっかりと書かれていますので、学生の心の感じ方を変えていけるかとい所に着目して授業展開を心がけています。音を感じる心や、子どもが感じていることに共感できる心、そういうものに気付く心を 2 年間の授業の演習体験や

学生同士での発表で学んでいければと考えています。

(学校) 文部科学省の幼児期の運動指針の中では毎日 60 分遊びの中で楽しんで運動することがよいなど具体的に書かれています。そこに安全をプラスして専門の指導者が現場では運動指導をしているようであるが、普段の遊びを通して先生が指導できるようになればとても良いことではないかと考えます。

(学校) 健康とは身体だけでなく、心の健康も重要である。心の健康の大切さを授業では強く強調し指導しています。

(委員) 実践している様子が良く伝わってきます。文部科学省でアクティブラーニングの定義が変わって、対話型・対話的が盛り込まれました。それをもってアクティブラーニングという表現になったようです。主たるところは主体性をもって取り組んでいくということで幼児教育者として教えていく、一番の教育の素晴らしいところは、自分が指導者・教育者等教える立場に立つことが一番の学びになる。

## 基準 2 学校運営

(学校) 本法人に入った以上はなるべく長く勤めていただく。そのための色々な整備、人事給与、休暇制度、研修制度など少しずつ進めている。昨年度からは産休や育休等で休暇に入る職員が約 100 名中 5 名程いる。さらに人事給与関係は中身を詰めて辞めずに当法人の職員で全うするような制度にしていきたいと考えています。職員の声を聞きながら色々な制度を改善していきたいと考えています。

## 基準 3 教育活動

(学校) キャリア教育を 3 年前から始めて内容に関しても少しずつ変えながら進んできている。2 年生前期 15 回実施している中で今後より一層の内容の充実を図って、就職してから先の人生設計を見据えた考え方が各個人出来るような指導をと考えています。

(学校) 本校では免許。資格取得が卒業要件です。今年度第 1 回の委員会が出された意見で退学者が出てしまうという意見の中で学生が孤立しない仕組みはあるのか? という質問を頂きました。全教職員が参加する職員会議では毎回校長から気になる学生の報告を求められます。今後多岐にわたるケースが出てくると予測されますので、臨機応変に対応できる体制作りが必要と考えています。

(学校) 元担任は、卒業した方の動向についてとても気にするところである。相談に来た卒業生などから情報を聞き在学中の学生にうまく活用できればよいと考えています。

(委員) 保育の学びをしているときに自分が保育者としてどのように子どもと関わっていくか、そこでキャリア教育の地固めが出来ているのかと思うが、それとは違うものもキャリア教育として盛り込んでいくことになると思うのですが。

(学校) キャリア教育はその時だけでなく、就職してからの人生設計みたいなものではないかと意見を頂き、10 年 20 年先を見通してやりたい仕事を続けられるような気持ちで卒業していただきたいと思っています。

<p>(委員) 卒業する時に同窓会の役員等は決めて卒業するのか？</p> <p>(学校) 世話人ということで数名の方に協力していただいている。</p> <p>(学校) 年 1 回勉強会ということでここ数年は開催している。今年度は日本一飛ぶ紙飛行機の講師を招聘して子どもたちにも指導できるものを実施。昨年はけん玉の日本チャンピオンを招聘しての実技指導を行いました。</p>
<p>(委員) 先日保育祭に参加させていただいて同窓生の集まる部屋がなかったが？</p> <p>(学校) 今年度は 201 教室の一角に設定しました。同窓会よりも多くの卒業生が来校してくれました。</p>
<p>(委員) 卒業生から就職先の情報を集めるのが一番ではないだろうか。</p> <p>(学校) 今回は特に、卒業生から学生を送ってほしいとの依頼が多かった。同窓会紙を人材バンクに活用することも、色々な面で協力していただける一因になるかと思います。</p>
<p>(委員) 就職してから先の人生を見据えたキャリア教育は素晴らしいと思います。私は処遇や福利厚生が良くわかっていない状況で就職したが、就職先に恵まれていたので家庭をもって出産してまた安心して働けている。安心して子育てをしながら働くためには就職先を選ぶ段階で色々な所を見たり、先生に話を聞いたりということを授業の中で行ってけるとよい。</p>

**基準 4 学修成果**

<p>(学校) 今年度も公務員採用試験 1 次合格者がさいたま市 2 名、北区 2 名、千葉県職員 2 名出ております。合格者増に向けて対策講座の内容等話し合いをして取り組んでいきたいと考えています。</p> <p>(委員) 有料にするのも一つの方法では？</p> <p>(学校) 講座を有料にするのは学校の方針ではない。</p>
---

**基準 5 学生支援**

<p>(学校) 空き教室を有効活用しながら学生のプライベートを確保し学生相談を行うようにしていきたいと考えています。</p>
--

**基準 10 社会貢献・地域貢献**

<p>(学校) 8 月 24 日から 3 日間、地域住民に対して図書室の開放を行いました。これを機に開放できる施設があれば検討して行っていきたい。</p> <p>(委員) 増員のために市の広報を利用してはどうか。</p> <p>(学校) 検討していきたい。</p>
--

(学校) 講習会や得意分野等発表の場を考えています。講習会やボランティア等には積極的に行かせるようにしており、そういった先生も増えています。

(委員) 附属の認定こども園では未就園児の子育て支援が行われていると思いますが？

(学校) 幼稚園では独自の未就園児プレスクールを実施しておりますが、本校の教員がかかわる実施体制にはなっていない。今年始めた園の先生と本校教員とでの音楽をテーマにした勉強会では園の先生の勉強会に参加や講師を行うなど試みました。

(委員) 学生が子育て支援の場に参加するというのはどうですか。

(学校) 土日に学生を登校させる難しさや、プレスクールが平日午前中に実施されることが多いので授業との兼ね合いで難しい。また長期の休暇期間では実習があり学生に配慮している。

(委員) 千葉県の短大では子育て支援の授業があって、地域のお母さんたちと一緒に子どもたちがやってきて1年間を通したら一つの学びになる貴重な場になった。本離れをしている状況の中で地域の方が図書室に何を求めるのか、子育て支援の学校開放ではないが本気で考えられると効果的だと思う。

(学校) 施設の開放だけが目的ではなく一つの手段として気持ちが地域住民にわかっていただければ良いと思う。

## (2)

### ア 平成28年度重点目標と取組

資料に基づき説明・・・質疑なし

### イ 学生募集関係

資料に基づき説明・・・質疑なし

### ウ 退学者と休学者

資料に基づき説明・・・質疑なし

### エ 求人状況及び就職内定者の状況

(学校) 資料に基づき説明。

(委員) 内定者数は例年と比べて変動はありますか。決まっていない学生の就職活動はどうですか。

(学校) 昨年と変わりはない。未決定者についても就職希望者は全員活動中である。今年度は保育園希望者が多く、幼稚園希望者が減っている。

## 5 その他・事務連絡

### (1) 議事録及び第2回学校関係者評価委員会報告書の作成と公表

事務局で作成し委員に送付。第1回同様ホームページに掲載する。

以上